

伊豆の国市立長岡南小学校 学校だより



あやめだより

令和5年12月号

実りの秋「南っ子祭り」

校長 牧野 宏之

11月の中旬から急に涼しくなり、夏から急に冬になった気分です。夏が長くなった分、秋が短くなったようで、気候の変化に身体がついていきません。そんな中ですが、子供たちは様々な活動に元気に取り組み、実りの秋を迎えています。

特に、11/22(水)に行われた「南っ子祭り」では、当日だけでなく準備を通して様々な学びや成長が見られました。依然として、コロナやインフルエンザが心配な状況ではありますが、久しぶりに全校開催ができたこと、学年間の交流ができたことが良かったです。

準備の段階では、各学級ごと話し合い、お客さんに喜んでもらえるように様々な工夫や準備、リハーサルを行いました。個人でなく学級で取り組むため、意見がまとまらなくて苦しんだり……様々な困難もあったことでしょう。しかし、誰かのアイデアで上手くいって楽しくなったり……、集団で協力して作り上げる楽しさを実感したり、貴重な学びがありました。

祭りの当日には、他学年のお客さんが来るという緊張感の中、張り切って取り組んでいました。店番をしていた誰もが、自分から積極的に動き、お客さんに喜んでもらえるように自分のできることを考えて取り組んでいました。そして、お客さん側も、説明などの話をしっかり聞いて、真面目に楽しもうという態度が立派でした。そして、終わった後「ありがとう。楽しかったよ。すごかったね。上手にできたね。」など、温かく、優しい言葉がたくさん聞かれました。

準備の段階で頑張ったことや心配していたことが上手くいき、お客さんに喜んでもらえ、認めてもらえ、褒めてもらったことは大きな喜びや自信になります。このような体験が、次への頑張り・挑戦に繋がります。

協力して人のために頑張れる子、友達の良さに気づいてお礼や温かい言葉をかけることができる子、そんな子供たちの良さがたくさん見られる実りの秋「南っ子祭り」でした。

